

市議会だより

 しぶかわ

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2018年〈平成30年〉
2月1日第**49**号

広報と一緒にとして保存しましょう



平成 29 年

表紙の写真：もちつき（渋川幼稚園）

12月渋川市議会定例会

- 本会議のあらまし…………… 2ページ
- 常任委員会の審査…………… 3～4ページ
- 5人の議員が市政を問う（一般質問）…………… 5～8ページ
- 議会のしくみ（「会派」とは？）…………… 10～11ページ

平成29年 12月定例会

第2次総合計画の基本構想決まる

あらまし

平成29年12月定例会は、11月29日から12月12日までの14日間の日程で開催されました。市長から議案31件（条例改正9件、条例廃止1件、市道の廃止1件、市道の認定1件、指定管理者の指定2件、総合計画基本構想の策定1件、渋川地区広域市町村圏振興整備組合の規約変更協議1件、補正予算15件）が提出され、条例改正3件及び補正予算7件を除く21議案について、それぞれ所管の常任委員会へ付託され審査を行いました。いずれの議案も原案のとおり可決されました。

市道の廃止と認定

廃止は高渋バイパス道路整備に伴う4路線、行幸田地区の林道中通線整備に伴う1路線、民間への払下げ2路線の計7路線。

認定は高渋バイパス道路整備に伴う6路線、北橋運動場整備に伴う1路線の計7路線。

全員一致で可決しました。

第2次渋川市総合計画基本構想の策定について

この計画は、市の将来像の実現に向けた取組姿勢として「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」としています。基本理念では「人・地域

・資源を、育む・結ぶ・創

る」として、平成30年3月に策定する予定で進行しています。

全員一致で可決しました。

渋川地区広域市町村圏振興整備組合議員の削減

各市町村の厳しい財政状況を踏まえ、経費節減等のため、組合議員を削減するものです。

渋川市は11人から9人に削減されます。

全員一致で可決しました。

指定管理者の指定

小野上温泉センターほか2施設（小野上地区）とたちばなの郷城山ほか1施設

（北橋地区）について、それぞれ指定管理者を指定しました。

全員一致で可決しました。

渋川市体育施設の追加

小野上山村広場を、渋川市小野上スポーツ広場として、体育施設に追加するものです。

全員一致で可決しました。

渋川市複合福祉施設まっぼつくりの廃止

複合福祉施設まっぼつくり（渋川地区）を、建物の老朽化と耐震性の問題から、平成29年度末をもって廃止するものです。

全員一致で可決しました。

市営渋川駅前第3駐車場の料金値下げ

渋川市営駐車場条例を一部改正し、渋川駅前第3駐車場の24時間以内の駐車料金の限度額を、1000円から500円に引き下げるものです。

全員一致で可決しました。



渋川駅前第3駐車場

道路占用料、法定外公共物使用料の改定

道路法施行令の一部改正に関連し、渋川市道路占用料徴収条例、渋川市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正するものです。この改正により、電柱や地下埋設物等にかかる道路占用料・施設使用料が改定されます。

全員一致で可決しました。

個別処理浄化槽の新設を中止

渋川市個別処理浄化槽条例を一部改正し、今後の個別処理浄化槽の新設を中止するものです。

全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

第2次渋川市総合計画基本構想の策定について

全会一致で可決しました。

質疑 主な質疑は次のとおりです。

質疑 地域文化振興の部分でもっと視野を広くしては。

答弁 市には上三原田の歌舞伎舞台などの文化財や、金井東裏遺跡を中心としたさまざまな遺跡があります。

東国文化の発信、それらを絡めて推進したい。

質疑 この総合計画基本構想について、市長の考えは。

答弁 各地区の懇談会から出された意見、要望等が反映されていると思います。

質疑 総合計画により、がんじがらめに縛られては社会の動静に対応できないと思うが、どう考えるか。

答弁 総合計画は、ある意味、羅針盤のようなもので

あって、各事業はそれぞれ機動的、継続的に対応を考えています。

渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の法改正に伴い、育児休業を再取得・再延長できる事情に、保育施設の利用を希望するが入所できない場合を追加するものです。

また、非常勤職員の育児休業の期間を半年間延長するものです。

全会一致で可決しました。

質疑 市内の保育施設の入所状況はどうなっているのか。

答弁 渋川市においては、入所待ちの待機児童は発生していないと聞いています。

総務市民常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

- ①平成30年度国民健康保険税標準保険料率等の仮算定結果
- ②平成30年度国民健康保険税の賦課方式
- ③第2期渋川市国民健康保険保健事業実施計画（データーヘルス計画）（案）
- ④第3期渋川市国民健康保険特定健康診査等実施計画（案）



第1保育所

経済建設

公の施設の指定管理者の指定

市の公共施設の指定管理者を指定するものです。期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日まで。

- ①「渋川市小野上温泉センター、渋川市小野上地域活性化センター、渋川市小野上温泉公園」

指定管理者 金井興業(株)

- ②「渋川市たちばなの郷城山、渋川市北橘温泉ばんどうの湯」

指定管理者 (株)邦堂

全会一致で可決しました。

質疑 今回3年間の指定管理期間を終えて、また改めて3年間の指定管理をする。譲渡等の検討はしないのか。

答弁 観光施設等のあり方検討委員会の中で、いろいろな検討を行ってきました。早急に今後の方向性を示したいと考えます。

市道の廃止・認定

次の事項により市道の廃止・認定をするものです。全会一致で可決しました。

- ①高渋バイパス道路整備に伴う市道の付け替え（廃止4路線、認定6路線）
- ②林道中通線整備（廃止1路線）
- ③民間への払下げ（廃止2路線）

（路線）

- ④北橘運動場の周辺道路整備に伴う道路用地への所管替え（認定1路線）。



高渋バイパス取付道路

渋川市営駐車場条例の一部を改正する条例

市営駐車場の利便性向上と利用促進のため、駐車場使用料を引き下げるものです。この改正により、渋川駅前第3駐車場の24時間までの駐車料金の限度額が1000円から500円に引下げになります。

全会一致で可決しました。

質疑 渋川駅前第3駐車場使用料の500円値下げによる効果の見込みは。

答弁 利用増についての試算はありません。収入面では利用者数が同じなら減収

※**パークアンドライド**：自動車を利用し、途中で電車やバスなどに乗り換えて目的地まで移動する方式。都市の中心部や観光地の交通混雑を緩和するために行われる。

になります[※]が、パークアンドライドという形で利用者が増えればと考えています。

質疑 渋川駅前第2・第3駐車場の収支は。

答弁 現段階では黒字になっています。この条例により使用料が値下げされても、利用者数が同じであれば、黒字になる見込みです。

経済建設常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

- ①第2次渋川市観光基本計画（案）
- ②中村緑地公園整備計画（案）
- ③渋川市新水道ビジョン（案）
- ④渋川市下水道事業経営戦略（案）

教育福祉

渋川市複合福祉施設まつぼっくり条例を廃止する条例

複合福祉施設「まつぼっくり」（渋川地区）を建物の老朽化や耐震性の問題により廃止するものです。
現在「まつぼっくり」内

には地域活動支援センター「いぶき」と渋川市中心障害者集団活動・訓練施設「わかば」があります。

施設の廃止後、「いぶき」は同様の活動を行っている地域活動支援センター「かえでの園」（子持地区）に統合され、「わかば」は廃止されます。

全会一致で可決しました。
質疑 「わかば」廃止の理由は。利用者がいないのか。

答弁 利用者はいますが、渋川地区広域圏内において民間事業者による同様のサービスが10カ所展開されており、利用者の受け皿が十分確保されていることから廃止します。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明を受け、協議しました。

- ①第2期渋川市教育振興大綱（案）
- ②第4期渋川市障害者計画（案）及び第5期渋川市障害福祉計画（第1期渋川市障害児福祉計画）（案）

- ③渋川市高齢者福祉計画（老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画）（案）
- ④健康プランしぶかわ21（第3期渋川市健康増進計画）（案）
- ⑤第2次渋川市生涯学習推進計画（案）

予算

平成29年度一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計ほか計8件の補正予算を審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。
主な質疑は次のとおりです。

鉄鋼スラグ対策事業費

質疑 今回、被覆処理する箇所は市の借地だが、将来

にわたり市が土地を管理できない場合は撤去する方針になっているはず。方針に従い、今回は撤去すべきではないか。

答弁 地権者、関係機関には被覆することで了解を得ていますが、撤去も含め再

度協議します。

JR八木原駅周辺整備事業

質疑 全体の計画年数、事業予算は。

答弁 短期的整備と長期的整備で10年前後と考えています。

事業費については概算ですが30億円程度を見込んでいます。

質疑 多額の事業費を市が単独で負担するのは財政的に厳しいと思う。

JR東日本にも費用負担してもらおうことになると思うが、協議はしているのか。

答弁 事業予算については国の有利な交付金を活用する考えです。

JR東日本にも費用負担を求める予定ですが、具体的にはこれから協定を結び、協議します。

質疑 国から有利な支援を受けるには、まず立地適正化計画の策定が必要。社会状況も変わっていくので、もっとスピード感を持って取り組むべき。

答弁 現在、立地適正化計画策定に取り組んでいると

ころですが、都市計画の用途地域の再編と並行して進めます。

駅周辺の早急な整備を目指します。



開発が期待される八木原駅周辺

「たばなの郷城山等の指定管理」

質疑 市の支出を伴う指定管理者制度は市のためになっているのか。財政対策として、ほかの方法も検討すべきはないか。

答弁 「渋川市観光施設等のあり方検討委員会」の結果報告に基づき、早急に市としての方針を決定し、指定管理料の縮減に向け調整を進めます。

一般質問

5人の議員が

市政を問う

一般質問とは

議員が、市政をチェックするために、市の事業や事務、将来に対する考え方などを質問します。
いろいろな提言や行政への指摘を行い、問いたすこともあります。
質問の範囲は、市政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

P 6 星野 安久 議員

- 渋川市の真の未来構想は

P 6 加藤 幸子 議員

- 条例等の改正・制定について
- 子育て支援について
- 古巻地区に関する問題について
- 高齢者の足の確保について

P 7 山崎 雄平 議員

- 鳥インフルエンザの発生に対する対策は
- 渋川市のソーラーシェアリングへの取り組みについて

P 7 茂木 弘伸 議員

- 自治会要望について
- 防災行政無線について

P 8 角田 喜和 議員

- 経費削減対策について
- 国民健康保険の県一本化による弊害と加入者負担はどう変わるのか
- 一級河川の崖崩落と安全対策について

一般質問の詳しい内容は会議録またはインターネット録画配信をご覧ください。

渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会ホームページ

会議録検索システム

議会放送システム

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問



星野 安久

伊予市の真の未来構想は

合併により生まれ変わった新伊予市。市民みんなで未来を考えなければならぬ。人が住み続けなければならないまちづくりについて伺う。

質問 上信自動車道開通の見通しと周辺整備としての道の駅、まちおこし構想は。

建設部長 上信道の県事業は平成31年度の完成が見込まれています。道の駅については、全体構想の見直しを行う中で、地域活力の向上に資する整備に努めます。

質問 市の幹線道路計画と吉岡町との道路連結の見通しは。

建設部長 交流・連携を促進する快適な道路ネットワークを形成するため、(主) 前橋伊香保線吉岡バイパスの延伸道路の実現を目指します。

質問 荒廃農地対策としての都市交流の考えは。

農政部長 地場産品などの都市住民へ向けた情報発信、収穫体験や直売所で農産物の販売を行う中で、都市との交流を進め、取り組んで行きたいと考えています。



建設中の上信自動車道

質問 町の活性化のため、大型店舗誘致・進出の考えは。

商工観光部長 大型店舗の出店には、農地等の大規模な開発を伴う場合が考えられますので、誘致に際しては、関係部門と十分協議・調整を図っていきます。

質問 新庁舎建設の場所ならびにその時期は。

総務部長 候補地は、交通環境や地理的要因を考慮しつつ、庁内で検討を進めています。建設時期は、地方債負担等財源を考慮し、平成41年前後を想定しています。



加藤 幸子

市民のくらしを守る市政を

狭あい道路等の整備要綱改正を

質問 過去に市と協議せず自主後退した民地の道路は、現在の要綱では整備できない。西宮市では要綱を改正し、過去に遡って整備しているが、市の要綱改定の考えは。

建設部長 現在の要綱では、協議をせず自主後退をした私道は整備の対象外であるため、制度の趣旨を踏まえた上で要綱の改正について検討します。

質問 JR八木原駅周辺整備について計画の進捗よく状況は。

建設部長 平成28年度に作成した基本構想図により、JR東日本高崎支社と自由通路及び橋上駅舎の協議を進めています。

障害者・高齢者の足の確保を

質問 社会福祉協議会(社協)の買い物弱者タクシー送迎補助の利用者に対し、市も補助できないか。福祉タクシー券の交付枚数を24枚から元の36枚に戻せないか。

保健福祉部長 支え合い買物事業は社協が自主財源で実施していますが、情報交換して連携を検討し



伊香保の峠三差路バス停

ていきます。また、福祉タクシーは実績や他の福祉サービスとの公平性をみて検討していきます。

質問 伊香保タウンバス2号線の9時台の運行を増やし、バス停「峠三差路」は傾斜地で乗降しにくいので体育館入口に移動を。

市民部長 運行時間の増便やバス停の移動については、定期利用をしている方もいますので、利用状況の確認や周辺住民からの聞き取りを行い、利用者の安全の確保と利便性の向上を目指し、委託業者を交えて検討します。

一般質問

※防疫：感染症の流行を防ぎ、またその侵入を予防するための対策をいう。



山崎 雄平

農地での発電と農業生産、 両立させる可能性は

質問 農地に太陽光発電パネルを設置し、農業生産と発電を両立させるソーラーシェアリングについて、渋川市の考えは。

農政部長 優良農地に設置することから、営農における収量や品質の確保などさまざまな条件があり、農地の状況や農業効率を踏まえて調整する必要があると考えています。

質問 県内及び市内でソーラーシェアリングに取り組んでいる事例はあるか。

農政部長 県内の件数は平成29年3月末時点で138件、市内では平成29年10月末現在、設置はされていない状況です。

質問 農地への太陽光発電設備の設置申請はどうすればよいのか。

農政部長 農地法に基づく一時転用許可申請と営農の適切な継続が確保されることを証明する追加書類の提出が必要となります。

質問 東アジアで発生した鳥インフルエンザ。鳥だけでなく人への被害も出ている。さまざまな事態

が予想されるが、市の認識は。

農政部長 日ごろからの飼養管理の徹底により発生防止に努め、万が一発生した場合は、初動防疫を開始し、早期終息により被害を最小限に押さえ、まん延を防ぐことが重要と考えています。

質問 鳥インフルエンザ発生に対する備えは。

農政部長 研修会や防疫実地演習への参加、また県との打ち合わせ会議の開催、国内外の発生情報を共有し、発生した場合に備えた初動防疫態勢に努めています。



農業生産をしながら太陽光発電



茂木 弘伸

自治会要望と 防災行政無線難聴対策

自治会要望への対応について

質問 毎年度、自治会から道路や側溝整備、近隣住民が集う公民館、住民センターの修繕等、要望があると思うが、昨年度の達成率は。

建設部長 自治会要望に対しての達成率は53・1％で、その他随時要望の達成率は74・9％です。

質問 平成29年9月定例会で生活道路等緊急整備事業の予算として5000万円の追加補正が可決され、早速、市内各所で工事が施工されている。生活道路が良くなつて市民は喜んでいる。この事業を来年度も継続してもらいたいが、考えは。

市長 身近な生活環境の整備を行い、市民に寄り添った事業として予算を確保し、スピーディーに対応できるように、来年度も継続していきたいと考えています。

防災行政無線の難聴対策について

質問 防災行政無線が聞こえない、聞きづらいという声が市民から寄せられているが、対策は。

総務部長 担当職員が現地で確認

を行い、放送が聞き取りにくい場合は、ほつとマップメールや自動応答サービスの利用をお願いし、全く聞こえない場合は、戸別受信機の設置を検討します。

質問 屋外拡声機器の設置は多額の費用を要するが、戸別受信機なら比較的安価である。戸別受信機の設置を積極的に推進すべきではないか。

総務部長 現在の設備は、屋外拡声子局と戸別受信機を比較検討して整備してきました。今後そのような視点で検討します。



生活道路等の整備の継続を

一般質問



角田 喜和

吾妻川左岸の崖崩落の危険と対策は

質問 吾妻橋から下流の吾妻川護岸が崩れて危険な状況になっている。市単独では解決できない。県と協議を行うなど、河川管理者である県への働きかけは。

建設部長 浸食等による護岸の崩落対策は県により整備済みです。現在の崖の崩落は、風化等によるものと考え、現行の施策での対策は非常に難しいと考えます。

質問 崩れている護岸には雨水排水管が設置されており、崖との間にすき間が2m近く生じている。また、隣の墓地では崖崩れで墓1基が崩れ落ちたと聞いている。安全対策はどうするのか。

建設部長 排水管は旧子持村当時整備されたもので、この排水管について特に支障はないと思いますが改めて調査したいと思います。

国保、県一本化後の負担は

質問 国保の仕組みが平成30年度から大きく変わる。国保税の資産割廃止など課税の見直しにより、加入者の税負担はどう変わるか。

市民部長

平成30年度は財政の仕



崖崩落により排水管露出

組みが大きく変わることから税負担が増えることも減ることも考えられますが、この機会に資産割の廃止も検討しています。なお、税負担については、県の算出する標準保険料率等を参考に見直します。

質問 国保加入世帯は所得水準の低い人たちが多い。厚生労働省の実態調査でも明らか。市独自で減免ができる。周知の考えは。

市民部長 独自減免は、生活が著しく困難となった場合に実施するものなので、納税相談や生活保護の相談時等に周知します。

議会往来



11月

▽6～8日 議会運営委員会が長崎県諫早市、大分県大分市へ行政視察

▽9日 兵庫県加古川市議会が視察来庁（フोटトリポ渋川について）

1月

▽18日 沼田市議会と合同研修（住宅密集地及び飲食店の防火対策に係る渋川広域消防本部の取り組み）

▽19日 大分県大分市議会が視察来庁（学校給食費完全無料化）
▽23～24日 教育福祉常任委員会が静岡県藤枝市、静岡県掛川市へ行政視察

台湾の員林市から表敬訪問がありました

平成29年11月30日、台湾の員林市の訪問団が、交流のために渋川市へ表敬訪問に見えました。

渋川市と員林市は平成27年に観光分野における友好協力協定を交わしています。

交流会には全議員が参加し、両市の友好を深めました。



渋川市議会議長（左）と員林市長（右）

行政視察報告

議会運営委員会

日時 11月6日～8日
場所 長崎県諫早市

大分県大分市
議会改革及びタブレット端末の導入

諫早市では、平成21年に諫早市議員政治倫理条例を制定し、「わがまちトーク」と称して、議員自ら市内6会場で議会報告会を行っていました。

また、議会のICT化で「タブレット端末」を導入



議会運営委員会行政視察

し、議員や市職員が議案書や議案資料等を共有化していました。市民も資料の一部をインターネットで閲覧できます。ペーパーレス化にも努力をしていました。

事務事業評価と議員政策研究会の取り組み

大分市では、市政執行に対する評価・監視機能の強化の一環として、毎年、決算審査の充実を目標に事務事業評価を導入しました。会派から対象事務事業を出して、①継続事業②市民生活直結事業③補助事業④市単独事業の選定基準により抽出します。

議会及び執行部が作成した評価シートに基づいて検証評価を行い、翌年の事務事業評価に反映しています。ひとつの結論を出すのは大変ですが、各分科会での評価の過程を重視していることがわかりました。

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市・南三陸町などの復興状況を視察してきました。

平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生しました。日本周辺で観測史上最大の地震で、死者・行方不明者は1万8000人を超え、現在も避難者は12万人を超えています。

渋川市議会では、発生の翌年7月に陸前高田市や気仙沼市などの復興支援を兼ね視察訪問しました。

今回は視察から5年が経過し、復興の進捗よく状況を確認すべく視察訪問を行いました。



陸前高田市の被災施設

平成30年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	3/ 1	2	3
			本会議 開会・ 議案上程	本会議 議案上程	常任委員会 総務市民 経済建設	
4	5	6	7	8	9	10
	常任委員会 教育福祉	常任委員会 予算	本会議 表決・ 予算議案上程	本会議 予算議案上程	本会議 予算議案上程	
11	12	13	14	15	16	17
	一般質問	休会 中学校卒業式	一般質問	一般質問	常任委員会 予算	
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会 予算	常任委員会 予算		常任委員会 予算	休会 小学校卒業式	
25	26	27	28	29	30	31
	本会議 表決・閉会					

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

いました。陸前高田市議会へは議長、副議長が代表して表敬訪問を行い、復興状況や庁舎建設の計画など説明を受けました。

また南三陸町の防災対策庁舎では、市議会として献花を行い、議員全員でご冥福を祈り黙祷を行いました。復興状況は、新たな商店街ができ、ホテルなども建て替えが進んでいます。まだまだ諸課題も山積して、復興の進展は困難が予想されると思います。一日も



南三陸市で追悼、献花

早く復興ができるよう渋川市議会としても応援してまいります。

議会のしくみ

◆ 今回のテーマ

「会派」とは？

今回は「会派」についてのお話をします。

国会のニュースなどでお聞きになったこともあるかと思いますが、「会派」というのは、議会内での議員たちの集合体のことです（政党とは異なります）。理念、主義、目的などを共有するグループで、浜川市議会では2人以上の議員が集まると会派として認められます。

会派をつくる目的は、議会の運営をスムーズに行うことにあります。ただし、議会の機関ではないので、会派に所属してもしなくても議員個人の活動には差し支えありません。

また、議長と副議長は浜川市議会の申し合わせにより、会派に所属しないことになっています。

現在、浜川市議会には5つの会派があります。今回はそれぞれの会派をご紹介します。



石倉 一夫



代表
望月 昭治



星野 安久



茂木 弘伸

「きぼう」

ひとは、夢と希望を持つことが大切です。会派「きぼう」は、そんな願いを込めて名前がつけられました。市民のために働くことがモットーです。構成員は4人で、市政のチェック機関として、また、みなさんが安心して暮らせるための議会活動をしています。



山崎 雄平



代表
入内島 英明



山崎 正男



今井 五郎

「新政クラブ」

我が会派の平均年齢は、70・5歳と高いですが、4人とも温厚な性格です。保守系を支持しています。しかし、間違った考え方、おかしい事項については、会派内で徹底的に議論し、方向性を見いだします。基本的認識は、浜川市の発展と繁栄を全員が考えています。



平方 嗣世



代表
南雲 鋭一



田邊 寛治



篠田 徳壽

「リベラル渋谷」

平成28年3月定例会時には、元議長を含む4人が無会派でした。このままではいけないと話し合い、平成28年6月に会派を結成しました。

「会派のきまり」は、市政に対し是非々々を貫く、会派拘束はしない（案件によっては議論し、結論を出す）としております。



細谷 浩



代表
中澤 広行



池田 祐輔



山内 崇仁

「政策調査会」

政策を調査・探求し、市政に継続して提言することを目指して日々精進している会派です。

市民の皆さまからいただく課題に時間をかけることなく対処することを基本とし、あらゆる難題に挑戦しております。

変革を迎えた時代に即応し、大切な故郷を愛してまいります。



副議長
安力川 信之



議長
須田 勝

会派に属さない議員



今成 信司



加藤 幸子



代表
角田 喜和

「日本共産党市議団」

地方自治体の仕事は「住民福祉の増進」です。私たちは、「住民こそが主人公」「憲法を暮らしに生かす」を貫き、市政を厳しくチェックします。市民の声と願いを市政に届け、その実現の道すじを提案し、市民の皆さんとともに取り組みます。福祉最優先の安心・安全のまちづくりを目指していきます。

平成29年12月定例会の審議結果

条例の改正……………原案可決

- 渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市体育施設条例の一部を改正する条例
- 渋川市営駐車場条例の一部を改正する条例
- 渋川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 渋川市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市個別処理浄化槽条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

条例の廃止……………原案可決

- 渋川市複合福祉施設まつぼっくり条例を廃止する条例

その他……………原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 第2次渋川市総合計画基本構想の策定について
- 渋川地区広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について
- 公の施設の指定管理者の指定について（2件）

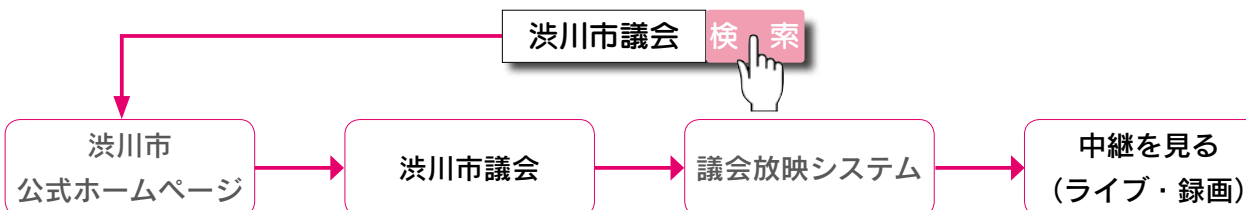
平成29年度補正予算……………原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第4号）
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市水道事業会計補正予算（第2号）
- 渋川市一般会計補正予算（第5号）
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
- 渋川市水道事業会計補正予算（第3号）



渋川市議会はインターネット中継しています。渋川市ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/>



編集後記

高木新市政になって初めての新年を迎えました。今回は渋川市議会の会派、議員、理念を改めて掲載させていただきました。

議会における会派、構成する議員の役割、判断は市民にとって重大な責任と影響を及ぼします。

市の予算、施策の議決を市民から負託されている議員は、その人格・才能を、まっすぐに発揮することが求められます。新年にあたり、自省の念をもってまいります。（編集委員 田邊寛治）

議会編集委員会

委員長 篠田 徳壽
副委員長 今成 信司
委員 山内 崇仁
星野 安久
田邊 寛治
山崎 雄平
加藤 幸子
安力川 信之